

**千葉市学校施設長寿命化基本計画（案）に
対する意見の概要と市の考え方**

No.	(案) 該当箇所	意見の概要	市の考え方	修正
1	第3章 学校施設の目 指すべき姿	<p>放課後や長期休暇時期などにおけるボランティアによる学童（生徒）保育事業や、児童・生徒・市民の趣味や特技の育成(教師負担軽減も考慮したクラブ活動)の場＝「学び舎」としての改築・新築に期待する。</p> <p>国家的な教育課程に基づいた教育の場として、学校施設を使うと同時に、児童・生徒・市民の活動の場でもあるとする立場で、学校建築を構想すべき。</p> <p>また、中学校の理系用室は、物理、化学、地学、生物に4大別された4理科教室にすれば、専用器財の常設もでき、教員の器財準備に要する時間外勤務の削減も図れ、デジタル教科書でのICT活用の授業を促すことも期待できる。さらに、ひと校舎を四画でなく楕円を基盤に設計・建築し、音楽室には小ホール、美術室には展示室を併設すべき。</p> <p>多様な年代の市民を対象に、多用途でバリアフリーな「学び舎」を次世代に渡す発想の実現に期待する。</p>	<p>学校施設には、児童生徒の学習・生活の場としてだけでなく、地域住民や地域で活動する様々な団体の生涯学習活動や地域活動の場としての役割も期待されており、本計画では、これらを踏まえて、「学校施設の目指すべき姿」において、「地域とともにある学校施設づくり」に取り組んでいくことを掲げています。</p> <p>また、「施設整備の考え方」において、これからの時代に適した学校施設環境を整えるため、費用対効果や実現可能性、整備のタイミング等を踏まえながら、多様なニーズに対応するための施設整備を検討することとしています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>	—
2	—	<p>教育行政にあたっている現場の教職員の声を、もう少し反映させてもよいのではないかと。財源は有限ではあるが、確かにあると思う。</p>	<p>学校現場や教職員の意見も踏まえつつ、学校施設の整備等に取り組んでまいります。</p>	—
3	—	<p>防水工事にあたっては、防水層の改修サイクルを長くし、改修頻度を少なくすることで、ライフサイクルコストの低減を図ることができるため、高耐久仕様の防水工法を採用することを提案する。</p>	<p>詳細な仕様や工法等の技術的な事項については、改修工事実施段階において検討・決定してまいります。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>	—

意見提出者数	3
意見数	3